



平成26年 8 月 8 日

各 位

会社名 クボテック株式会社
 代表者名 取締役社長 久保 哲夫
 (コード番号 7709 東証第1部)
 問合せ先 取締役管理部長 柿下 尚武
 T E L (06) 6443-1815

(訂正・数値データ訂正あり)
 「平成27年 3 月期 第1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成26年 8 月 1 日に発表いたしました「平成27年 3 月期 第1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」について一部訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信します。

なお、訂正箇所は下線で表示しております。

記

1. 訂正の理由

四半期決算短信発表後、四半期報告書の作成過程において、「営業外収益」に計上した「貸倒引当金戻入額」について再検討した結果、「販売費及び一般管理費」の戻入として処理するほうがより望ましいと判断し、四半期決算短信の一部訂正に至ったものであります。

2. 訂正の内容

サマリー情報

1. 平成 27 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績(累計)

(訂正前)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1 四半期	480	△22.5	<u>△71</u>	—	△75	—	421	—
26年3月期第1 四半期	620	75.3	<u>△71</u>	—	△69	—	△74	—

(後略)

(訂正後)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1 四半期	480	△22.5	<u>△66</u>	—	△75	—	421	—
26年3月期第1 四半期	620	75.3	<u>△71</u>	—	△69	—	△74	—

(後略)

P. 2

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(訂正前)

(前略)

このような環境の中、当社グループは事業構造の改革と新規事業・新製品開発に取り組み、損益構造の改善に努めてまいりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高 480 百万円（前年同四半期比 22.5%減）、営業損失 71 百万円（前年同四半期は営業損失 71 百万円）、経常損失 75 百万円（前年同四半期は経常損失 69 百万円）となりました。また、新大阪営業所の土地建物を売却し、特別利益に固定資産売却益 539 百万円を計上した結果、四半期純利益は 421 百万円（前年同四半期は四半期純損失 74 百万円）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

日本セグメントでは、主力製品である画像処理外観検査装置は引合いが徐々に増えているものの、売上は伸び悩みました。この結果、売上高は 270 百万円（前年同四半期比 14.9%減）、セグメント損失は 83 百万円（前年同四半期はセグメント損失 107 百万円）となりました。

(後略)

(訂正後)

(前略)

このような環境の中、当社グループは事業構造の改革と新規事業・新製品開発に取り組み、損益構造の改善に努めてまいりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高 480 百万円（前年同四半期比 22.5%減）、営業損失 66 百万円（前年同四半期は営業損失 71 百万円）、経常損失 75 百万円（前年同四半期は経常損失 69 百万円）となりました。また、新大阪営業所の土地建物を売却し、特別利益に固定資産売却益 539 百万円を計上した結果、四半期純利益は 421 百万円（前年同四半期は四半期純損失 74 百万円）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

日本セグメントでは、主力製品である画像処理外観検査装置は引合いが徐々に増えているものの、売上は伸び悩みました。この結果、売上高は 270 百万円（前年同四半期比 14.9%減）、セグメント損失は 77 百万円（前年同四半期はセグメント損失 107 百万円）となりました。

(後略)

P. 6

4. 四半期連結財務諸表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(訂正前)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 6 月30日)
売上高	620, 178	480, 767
売上原価	430, 941	284, 646
売上総利益	189, 236	196, 121
販売費及び一般管理費	260, 248	267, 393
営業損失 (△)	△71, 011	△71, 271
営業外収益		
受取利息	31	38
受取賃貸料	2, 880	305
為替差益	4, 608	-
貸倒引当金戻入額	-	4, 796
その他	296	669
営業外収益合計	7, 816	5, 810
営業外費用		
支払利息	6, 402	5, 700
為替差損	-	4, 063
その他	11	-
営業外費用合計	6, 414	9, 763
経常損失 (△)	△69, 608	△75, 225

(後略)

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	620,178	480,767
売上原価	430,941	284,646
売上総利益	189,236	196,121
販売費及び一般管理費	260,248	<u>262,596</u>
営業損失(△)	△71,011	<u>△66,475</u>
営業外収益		
受取利息	31	38
受取賃貸料	2,880	305
為替差益	4,608	-
その他	296	669
営業外収益合計	7,816	<u>1,013</u>
営業外費用		
支払利息	6,402	5,700
為替差損	-	4,063
その他	11	-
営業外費用合計	6,414	9,763
経常損失(△)	△69,608	△75,225

(後略)

P.9

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

(訂正前)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	270,955	104,172	105,640	480,767
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32,553	6,264	10,278	49,096
計	303,508	110,437	115,918	529,864
セグメント利益又は損失(△)	<u>△83,147</u>	△7,970	13,593	<u>△77,524</u>

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

損失	金額
報告セグメント計	<u>△77,524</u>
セグメント間取引消去	2,115
内部利益の調整額	3,589
その他	<u>548</u>
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	<u>△71,271</u>

(後略)

(訂正後)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	270,955	104,172	105,640	480,767
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32,553	6,264	10,278	49,096
計	303,508	110,437	115,918	529,864
セグメント利益又は損失(△)	<u>△77,989</u>	△7,970	13,593	<u>△72,366</u>

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

損失	金額
報告セグメント計	<u>△72,366</u>
セグメント間取引消去	2,115
内部利益の調整額	3,589
その他	<u>186</u>
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	<u>△66,475</u>

(後略)

以上